

# ルールメイカー育成プロジェクト

## ○ルールメイカー育成プロジェクトとは

経済産業省の「未来の教室」実証事業として認定NPO法人カタリバが行うプログラムで、校則などを題材に生徒・先生・保護者が対話を重ねる中で合意形成、意思決定する力を育むことを目的としている。

生徒が主体となり、「そもそもなぜ校則があるのか」、「どのような校則が必要なのか」などを生徒と教員、ときには保護者との対話を通して考える中で、校則を「自分ごと」として考え、さらに意見を出し合いまとめる力を養う。

## ○福井県としての取り組み

福井県では自治体連携として、本年度は高志高校、三国高校、勝山高校、敦賀高校、若狭高校の5校が参加している。各校の校則改正に向けた日常の取り組みには、ルールメイキング福井県事務局がコーディネーターとして関わり、5校の連携した活動や情報共有に福井県教育委員会が支援を行っている。

## ○ルールメイキング福井県事務局とは

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任准教授 若新雄純氏を福井県担当プロデューサー、株式会社 akeru 村上純一郎氏をディレクターとし、3名の福井県出身のコーディネーターの計5名で構成されている。

## ○これまでの主な活動

### 《各校の取り組み》

校則の見直しについて、各学校の現状に合わせて生徒、教員、ときには保護者等を交えて対話を重ねてきました。詳細は当日に生徒たちが発表します。



### 《生徒交流会》

- ・第1回生徒交流会 8月7日(土)「校則に対してどう思っている？」
- ・第2回生徒交流会 10月31日(日)「ルールは何のためにあるのか」
- ・第3回生徒交流会 12月19日(日)「加点法で考える」
- ・参加した生徒の声

「自分の高校では似たような意見が多かった部分も、様々な意見やこうなればいいなという考えが出て楽しかったです！校則やルールについて他校の人達と話せるという貴重な機会に参加できてよかったです！」

